

Geotechnical Forum 2024

地盤技術フォーラム 2024

Soil and Groundwater Remediation Technology Expo

土壌・地下水浄化技術展

環境にやさしい浄化技術、企業活動と自然の共生をめざして

Ground Improvement Technology Expo

地盤改良技術展

地盤改良技術・工法に関わる、ビジネスマッチングと事業拡大の促進を目指して

Foundation Engineering Expo

基礎工技術展

建築、道路・港湾・鉄道構造物、産業施設などインフラを支える基礎工の技術・工法および周辺技術を一堂に

Disaster Prevention Technology Expo

災害対策技術展



地震・豪雨など自然災害による地盤災害対策に関する工法・製品・サービス・コンサルティングを一堂に



2024年9月18日(水)～20日(金)

10:00～17:00

東京ビッグサイト **東ホール**

出展の
ご案内

主催:  産経新聞社、 一般社団法人土壌環境センター (土壌・地下水浄化技術展)

共催:  月刊「基礎工」(株式会社総合土木研究所) /  パイルフォーラム株式会社

オーガナイザー/展示会事務局: (株)シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST神田須田町4F
TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909 E-mail: info2024@sgrte.jp

<http://www.sgrte.jp>

地盤技術にかかわる4つの展示会を一堂に開催！

地盤技術フォーラムの総合タイトルのもと「土壌・地下水浄化技術展」「地盤改良技術展」「基礎工技術展」「災害対策技術展」の4展示会を来る2024年9月18日(水)から18日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにて開催します。

持続可能な社会への転換が進展する中で、工場やその跡地等における有害な化学物質などによる土壌・地下水汚染への解決が求められます。「土壌・地下水浄化技術展」は、進化を続ける浄化技術や、リスクコミュニケーションなど、ハード・ソフトの両面から本格的・統一的な土壌・地下水汚染問題への取り組みを包括的に紹介する展示会です。

今回は特に、人体への影響に関する研究が来年度から本格化するPFAS(有機フッ素化合物)の対策技術に注目してまいります。国の「暫定目標値」を超える濃度のPFASが全国で相次いで検出される中で、その測定、分析、処理技術の開発が急ピッチで進められています。本展示会では、その一端を展示に加えセミナーなどを通じて紹介する予定です。

近年激甚化する自然災害への対策を含め、国土の脆弱性への対応もまた、持続可能な社会実現のために重要度は高まっています。「地盤改良技術展」では、あらゆる構造物、建築物を設置するための最適な地盤とするための技術を、「基礎工技術展」は、建築、道路・港湾、鉄道構造物、産業施設などのインフラを支える基礎工の技術を紹介します。

「災害対策技術展」は、他の3つの展示会を補完する意味で、災害という特殊事案への対策を網羅いたします。

地盤技術フォーラムは、持続可能な社会に向けて、まさに“地中に見える化と、その対策”をワンストップで解決できるまたとない機会を創出できるものと確信しております。

過去の開催でも多くの官公庁、全国自治体、ディベロッパー、建設・土木事業者はじめあらゆる関係者がご来場されています。主催者としてしましては、関連するセミナーも併設するなどさまざまなニーズに対応できるよう本展示会の内容を充実させてまいります。

各位におかれましては、ビジネスマッチングや市場開拓の場としてご活用いただきたく、ぜひ積極的な出展をお願い申し上げます。

会期 2024年9月18日(水)～20日(金) 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト 東ホール

土壌・地下水浄化技術展

環境にやさしい浄化技術、企業活動と自然の共生をめざして

出展対象 ●分析 ●調査・コンサルタント ●処理システム(重金属・汚泥水など) ●浄化技術・機器 ●その他情報関連
●PFAS(有機フッ素化合物)対策技術(測定、分析、処理)

地盤改良技術展

地盤改良技術・工法に関わる、ビジネスマッチングと事業拡大の促進を目指して

出展対象 ●各種地盤改良工法(固化[深層・中層・浅層]、締固め、圧密促進・排水、薬液注入、荷重低減 等) ●液状化防止工法
●ICTを活用した施工機械、周辺機器、管理装置 ●材料(セメント、スラグ、薬剤、新材料、リサイクル材 等)

基礎工技術展

建築、道路・港湾・鉄道構造物、産業施設などインフラを支える基礎工の技術・工法および周辺技術を一堂に

出展対象 ●各種基礎工法(杭基礎(既製コンクリート杭、鋼管杭、場所打ちコンクリート杭 等)、ケーソン、鋼管矢板、地中連続壁 等)
●杭頭関連技術 ●各種地下工法(山留め・土留め、既存杭撤去、立坑 等)
●地盤調査技術(ボーリング技術、サンプリング技術、原位置試験技術 等)
●ICTを活用した施工機械(土工機械、基礎工事機械 等) ●戸建て住宅に関する地盤調査・補強技術

災害対策技術展

地震・豪雨など自然災害による地盤災害対策に関する工法・製品・サービス・コンサルティングを一堂に

出展対象 ●斜面・のり面の対策工法(斜面崩壊対策、落石対策、吹付・吹付枠、地山補強土、のり面緑化、補修・補強・修復、その他の対策工)
●土構造物の検査・点検とその対策工 ●河川堤防、海岸堤防・護岸、ため池の検査、点検、補修、補強
●宅地、宅地擁壁、ライフライン埋設管路における検査、点検、補修、補強
●ICTを活用した検査・点検・施工管理(各種センサー技術 等)

主催：産経新聞社、一般社団法人土壌環境センター(土壌・地下水浄化技術展)

共催：月刊「基礎工」(株式会社総合土木研究所)／パイルフォーラム株式会社

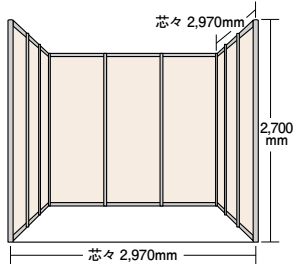
後援、協賛は関係省庁、団体へ申請し、決定次第公式 Web サイトに掲載致します。

前回の申請実績は、右ページの「前回開催実績」をご覧ください。

◎出展要項

Aタイプ (側壁・後壁のみ設置・角小間は側壁なし)

小間規格：1小間：間口2,970mm×奥行2,970mm・芯々寸法
側壁・後壁のみ設置(角小間は側壁なし)
※独立小間は1小間あたり3m×3m



出展料 (消費税10%込・1小間単価)

429,000円 (消費税10% 39,000円込) / 1小間

出展料に含まれるもの：

間口2,970mm×奥行2,970mmの展示スペース、間仕切り(後壁・側壁、独立小間はスペースのみ)

小間のレイアウト 並列小間、ブロック小間および独立小間が可能です。

小間アレンジ		装飾 高さ制限
A	ブロック小間は、4小間以上の偶数小間に限ります。 	4m
B	並列小間は、5小間までとします。 	1～3小間：2.7m 1mセットバックした部分のみ4m 4～5小間：4m
C	独立小間は、6小間以上とします。 	5m

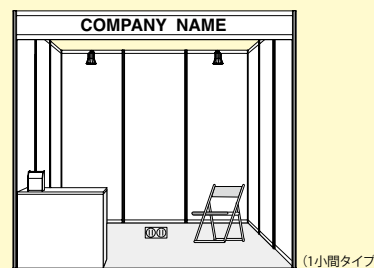
パッケージ装飾 (別途有料) ※詳細・申込については、出展者マニュアル(2024年7月末)にてご案内いたします。

小間装飾を簡易に行うためのパッケージプランをご用意いたします。

▶1小間タイプ (間口2,970mm×奥行2,970mm)

121,000円 (消費税10%込)

社名板(パラペット)/社名表示(黒・ゴシック)/受付カウンター：1台(W900×D450×H800)/床面カーペット/電気(FL28W：1灯、SP22W：2灯)/折りたたみ椅子：1脚/名刺受け：1個/1kW分の電気幹線工事費、使用料/コンセント：1個(アース付100V)



Bタイプ (一定装飾付き) 1社2小間まで

小間規格：1小間：間口1,980mm×奥行1,980mm・芯々寸法
一定装飾付き(角小間は側壁なし)

出展料 (消費税10%込・1小間単価)

253,000円 (消費税10% 23,000円込) / 1小間

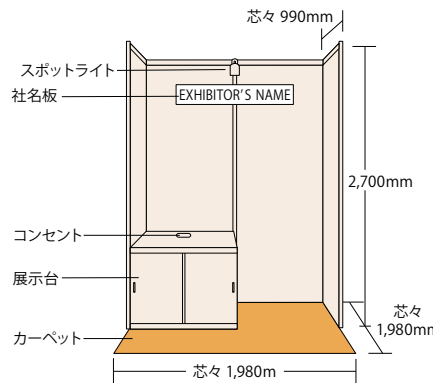
- 出展条件**：
- ・1社2小間までといたします。
 - ・係員の常駐を必須とさせていただきます。
 - ・展示規格Aタイプとの併用出展は出来ません。
 - ・ブース内でのマイク、スピーカー等を利用したプレゼンテーションは出来ません。

出展料に含まれるもの：

間口1,980mm×奥行1,980mmの展示スペース、間仕切り(後壁、側壁1m)、社名板、カーペット、展示台：横幅0.99m×奥行0.99m×高さ0.8m、引き戸ユニット(鍵ナシ)、スポットライト：22W×1、コンセント(アース付100V)：2個口×1

500Wまでの電気幹線工事費・電気使用料

※備品の追加注文がある場合は、別途ご請求させていただきます。
※詳細については、出展者マニュアル(2024年7月末頃送付)にてご案内いたします。
※上記基本ディスプレイを使用しない場合も、料金を差引くことはできませんのでご了承ください。



装飾の高さ制限について

装飾の高さは2.7mまでとします。
(出展製品独自の高さはこの限りではありません)

◎製品・技術発表会

展示会場内の特設セミナースペースで開催する新技術・新製品PRセミナー

日時：2024年9月18日(水)～20日(金) 10:00～17:00 内で30分間

場所：展示会場内特設会場(シアター形式 50名定員)

発表料金：1セッション 55,000円(消費税10%込)

運営方法：1、聴講無料(各回総入替)

2、受付・進行は発表各社が担当(登録や名刺回収は自由です)

会場設備：受付(机、イス)、聴講席(50席)、演台、マイクセット、プロジェクター、スクリーン

P R：案内状、ホームページ等に社名・プログラムを掲載

(注)・申込書に20字以内で発表テーマを記載下さい。

・終了後は現状復帰をお願いいたします。

・PC使用の場合は各自お持込下さい。※接続テスト等はこちらでご相談下さい

・発表日時は主催者にて決定します。

◎公式Webサイト バナー広告

貴社のリンクバナーを公式WEBに開催約1か月前から掲載

掲載期間：2024年8月中旬～9月末 ※予定

掲載仕様：W200px×H40px GIF形式 ※アニメーションGIF可

発表料金：1枠 55,000円(消費税10%込)

原稿締切日：2024年7月31日(水) ※リンク先指定の上、完成データをご提出下さい。

前回開催実績

地盤技術フォーラム2022 レポート

(土壌・地下水浄化技術展 / 地盤改良技術展 / 基礎工技術展 / 災害対策技術展)

- 会 期： 2022年9月14日(水)～16日(金) 東京ビッグサイト 西2 ホール
- 主 催： 産経新聞社、一般社団法人土壌環境センター(土壌・地下水浄化技術展)
- 共 催： 月刊「基礎工」((株)総合土木研究所) / パイルフォーラム(株)
- 後 援： 国土交通省、環境省、国立研究開発法人建築研究所、国立研究開発法人土木研究所、
独立行政法人水資源機構
- 協 賛： (公財)日本環境協会、(一財)国土情報センター、(一財)日本ダム協会、(一財)ベターリビング、(公社)化学工業会、
(公社)環境科学会、(公社)地盤工学会、(公社)土木学会、(公社)日本港湾協会、(公社)日本水道協会、(公社)日本地下水学会、
(公社)日本地すべり学会、(公社)日本水環境学会、(一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会、(一社)コンクリートパイル・ポール協会、
(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)セメント協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全日本建設技術協会、
(一社)土地改良建設協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)日本汚染土壌処理業協会、(一社)日本環境化学会、
(一社)日本基礎建設協会、(一社)日本建築学会、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本潜水協会、(一社)日本地質学会、
(一社)日本土壌肥料学会、(一社)廃棄物資源循環学会、地中連続壁協会、(一社)建築基礎・地盤技術高度化推進協議会

開催規模：

社・団体数	90社・団体
小間数	124小間

出 展 者：

■ 土壌・地下水浄化技術展

(株)安藤・間
(株)大林組
(株)栗元地質
／(株)インサイト
(有)坂本石灰工業所
JFEミネラル(株)
清水建設(株)
大成建設(株)
(一社)土壌環境センター
日本電子(株)

■ 地盤改良技術展

新地盤凍結工法 ICECRETE 協会
あおみ建設(株)
麻生フォームクリート(株)
(株)インターリンク
V-JET 協会
WILL 工法協会
宇部マテリアルズ(株)
エコジオ工法協会
(株)エステック
エポコラム協会 関東支部
小野田ケミコ(株)
(株)加藤建設
(株)グランテック
ケミカルグラウト(株)
サイテックジャパン(株)
CDM 研究会
(株)地盤試験所
／東邦地下工機(株)
地盤注入開発機構
昭和鋼機(株)
(株)精研

(一社)セメント協会
ソリッドキューブ工法協会
大洋基礎工業(株)
／浅深4軸工法協会
TNF 工法協会
／(株)タケウチ建設
テフロン™処理防塵固化材協会
東興ジオテック(株)
(株)トラバース
日本基礎技術(株)
パワーブレンダー工法協会
PPG 工法協会
／タイガーパイル工法協会
(株)不動テトラ
MITS 工法協会
ミノル工業(株)
ライト工業(株)
(株)ワイビーエム

■ 基礎工技術展

青山機工(株)
(株)エス・アンド・アール
地中障害物撤去 MRT 工法協会
応用計測サービス(株)
(株)オーク
環境パイル(S)工法協会
(株)技研製作所
JFEシビル(株)
／(株)KANSOテクノス
(株)ジオックス
協同組合 Masters GEOTETS(ジオテツ)工法研究会
ジャパンパイル(株)
ソイルメックジャパン(株)
(株)総合土木研究所

TRD 工法協会
(株)テノックス
(株)トーメック
／オープンピット工法協会
日本コンクリート工業(株)
／フリー工業(株)
パイルフォーラム(株)
マルチドリル工法協会
丸藤シートパイル(株)
三谷セキサン(株)
木材活用地盤対策研究会

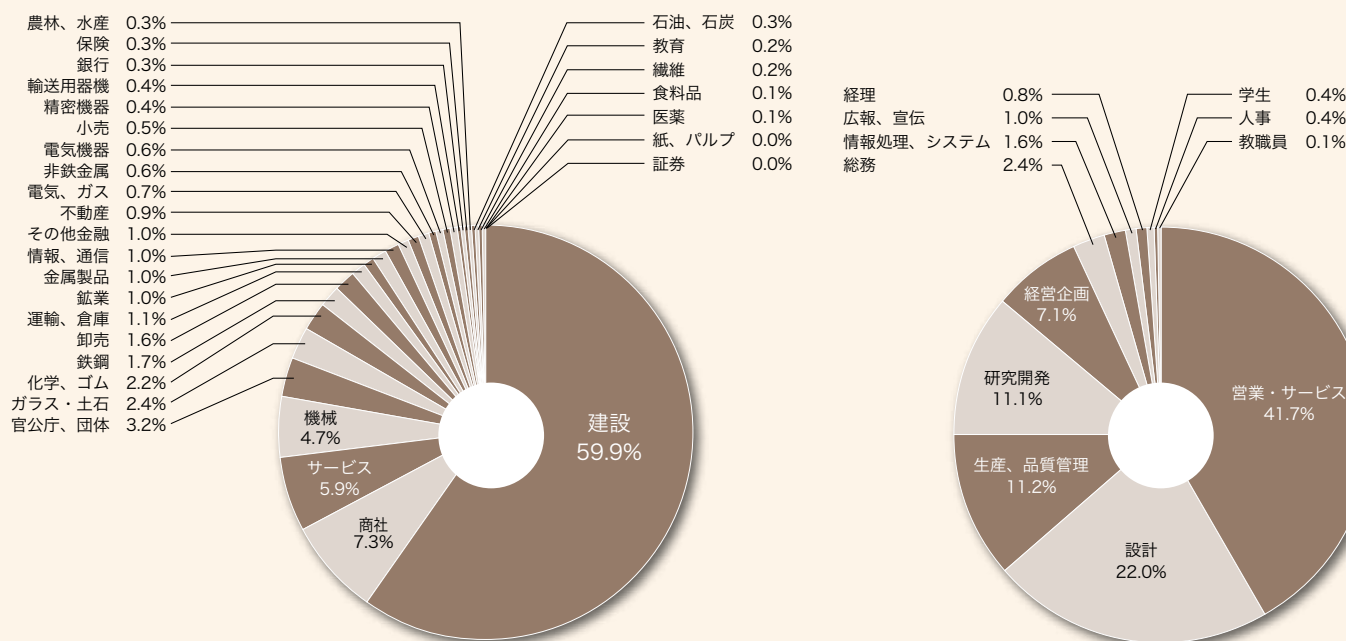
■ 災害対策技術展

IBアンカー工法®協会
(株)エイチテック
エバ・ジャパン(株)
(株)奥村組
環境研究総合推進費(課題番号1-2004)研究会
中央復建コンサルタンツ(株)
(株)テラサーモアジア
日工産業(株)
ライト工業(株)
レジェンドパイプ工法協会

※掲載社名は出展時のものです

来場者数：
(同時開催展とあわせて)

会期	天気	地盤技術フォーラム
9月14日(水)	晴れ	2,464名
9月15日(木)	晴れ時々曇り	3,056名
9月16日(金)	晴れ	2,506名
合計		8,026名



※四捨五入のため、合計が100%にならないケースもございます。

2024 同時開催展

※各展来場者は下記の同時開催展も無料で入場可能となります。

JIMA2024 [第11回総合検査機器展]

製造業を主とした検査・計測・試験・評価・保守に関する専門展示会

展示内容：エックス線、超音波、渦流、磁粉、浸透、歪、漏えい、ビジュアル(光学)、レーザー、マイクロ波など

主催：一般社団法人日本検査機器工業会 特別協力：産経新聞社

INTERMEASURE2024 [第31回計量計測展]

計量計測業界、最大規模。世界の最先端技術が一堂に集まる総合展示会

展示内容：長さ、角度、形状、厚さ等測定機器、光学測定機器、測量機器、分析機器、電気指示計器・測定器、放射線計器など

主催：一般社団法人日本計量機器工業連合会 特別協力：産経新聞社

センサエキスポジャパン2024

IoT社会とつながるセンシング技術とその応用分野、機器、システム、ネットワークに関する専門展示会

展示内容：センサ、コントロールとその応用技術、機器、システム、ネットワーク、情報など

主催：産経新聞社

IFPEX2024 [第27回油圧・空気圧・水圧国際見本市]

日本で唯一のフルードパワー(油圧・空気圧・水圧)の専門展示会

展示内容：油圧ジャッキ/油圧シリンダ、圧力制御弁、エアドライバ、コンプレッサ、ポンプ、アキュムレータ、増圧器、ロボット、油空圧関連メンテナンス機器など

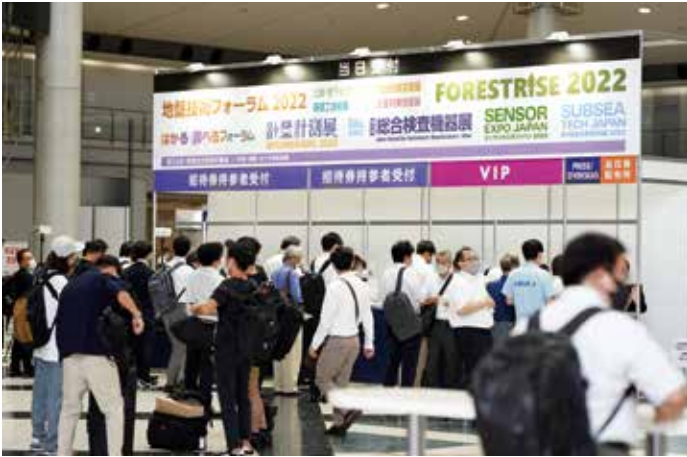
主催：一般社団法人日本フルードパワー工業会、産経新聞社

FORESTRISE 2024 [次世代森林産業展]

“森林産業”の活性化に向けた連携・交流を創出する専門展

展示内容：DX(デジタル変革)、ドローン、モバイル、IoT、クラウド、AI、ロボット、ビッグデータの利活用など、スマート林業への転換の必要性を発信する国際見本市。

主催：産経新聞社



会場への交通

●りんかい線

新木場駅 [JR京葉線、東京メトロ有楽町線]
 ←約5分→国際展示場駅 [下車徒歩7分]
 大崎駅 [JR] →大井町駅 [JR、東急大井町線]
 ←約14分→国際展示場駅 [下車徒歩7分]

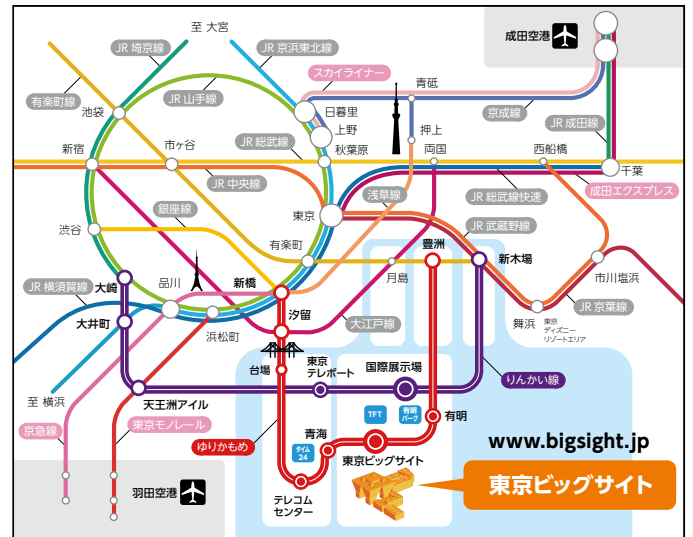
●東京臨海新交通臨海線“ゆりかもめ”

新橋駅 [JR、都営地下鉄浅草線、東京メトロ銀座線]
 ←約22分→東京ビッグサイト駅 [下車徒歩3分]
 豊洲駅 [東京メトロ有楽町線]
 ←約8分→東京ビッグサイト駅 [下車徒歩3分]

●バス (都営バス)

- 東16 東京駅八重洲口 (東16系統、豊洲駅前経由)
 ←約40分→東京ビッグサイト
- 都05-2 東京駅丸の内南口 (都05-2系統、勝どき駅前経由)
 ←約40分→東京ビッグサイト
- 門19 門前仲町 (門19系統、豊洲駅前経由)
 ←約35分→東京ビッグサイト

●空港バス 羽田空港←約25分→東京ビッグサイト



●首都高速道路 台場・有明・臨海副都心・豊洲出口から約5分

■主催者事務局所在地

産経新聞社 事業本部 コンベンション事業部
 〒100-8079 東京都千代田区大手町1-7-2
 TEL. 03-3273-6180 FAX. 03-3241-4999
<https://www.exposankei.jp>

■オーガナイザー/展示会事務局

(株)シー・エヌ・ティ
 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F
 TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909
<http://www.cnt-inc.co.jp>